

水素の医療活用

一般社団法人 臨床水素治療研究会



水素カプセル SUBSTANCE H₂を利用した 水素活用の研究



一般社団法人 臨床水素治療研究会

<https://h2-therapy.com>

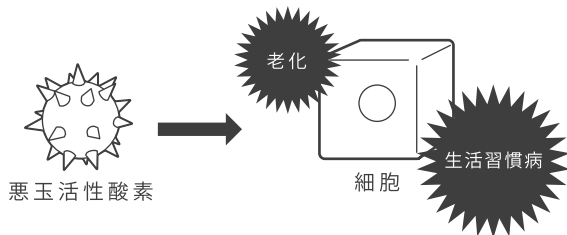
水素の抗酸化力が 細胞を助ける

カラダの不調や 老化の原因は「活性酸素」

活性酸素は、細菌やウイルスから私たちの体を守る免疫システムとしての働きも持っていますが、体内で過剰に発生すると正常な細胞も傷つき、多くの病気や老化の原因にもなります。

糖尿病や高血圧・動脈硬化・脳梗塞などの生活習慣病には、ほとんどの場合この活性酸素が関わっているといわれます。

さらに、アトピー性皮膚炎やシミ・シワの原因となり、老化のスピードを早めたりもしています。



生きていくうえで 避けられない「活性酸素」

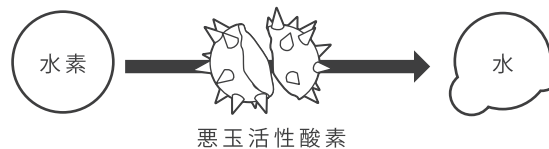
人間の体は約40兆個の細胞からつくられています。その1つ1つの細胞が血液から酸素と栄養分を受け取り、酸素で栄養分を燃焼させてエネルギーに換えています。呼吸によって体内に取り入れられた酸素のうち、使われなかった約2~3%が活性酸素として体内に留まります。

つまり、呼吸をすることで生きるためのエネルギーを得ている人間にとって活性酸素の発生は避けることのできないものといえます。

効率のよい水素の「抗酸化作用」

抗酸化食品の代表的なものとして、ポリフェノールやビタミン・カテキン・フラボノイドなどが挙げられますが、活性酸素を無害化するには大量に摂取する必要がありますが、現実的ではありません。

そこでもっとも小さな元素であり、効率のよい抗酸化作用を持つ水素が着目されています。



水素の治療活用と研究促進

効率のよい水素の抗酸化作用を各種治療の一環としてとり入れる研究が現在おこなわれています。水素を体内にとり入れることにより、その選択的活性酸素除去作用によって「抗炎症作用」「酸化抑制作用」「AGE産生抑制作用」「代謝促進作用」「mRNA調整作用」などが期待できます。

一般社団法人臨床水素治療研究会ではこれらの臨床研究を促進しています。

<臨床水素治療研究会における研究例>

カプセル状試薬 (SUBSTANCE H2) を服用した場合の水素発生曲線 (1カプセル当り)

